

南海トラフ大規模地震発生時の対応について

学校では、南海トラフ大規模地震および津波発生時、子どもたちの安全を確保するために下記のように対応します。

保護者に対しても、下記のとおりと定めておりますので、ご対応をお願いします。

記

- (1) 在校中：授業を中止し、初期対応をとり、児童の安全確保と確認をします。揺れが収まった後、校舎の安全性を確認し、避難合言葉「お・は・し・も」を守り、避難します。

***校舎の安全性が確認できた場合**

「浮くっしょん」等で頭部を守りながら、<校舎屋上>に避難します。津波の心配がなくなってから、引取り者に引き渡しを行います。

***校舎の安全性が確認できない場合**

「浮くっしょん」等で頭部を守りながら、運動場に避難し、避難場所の<馬頭観音または木本中学校>に避難します。津波の心配がなくなってから、引取り者に引き渡しを行います。

- (2) 登下校中：初期対応をとります。津波が来ると考え、高い建物（学校）や高台、避難場所に避難します。落ち着いてから、学校と家庭と連絡を取り合います。

- (3) 在宅中：同上

《初期対応とは、「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」安全な場所を見つけて身を寄せること。》

学校備蓄：校舎3階ホールに児童一人当たりカンパン3缶、飲料水2リットル、「救給カレー」3食分を保管しています。

